

平成 27 年度 地球環境基金助成事業・県民の環境活動支援事業

ちば里山カレッジ「里山ボランティア養成コース」実施報告書（4）

特定非営利活動法人ちば里山センター

題 名	ちば里山カレッジ「里山ボランティア養成コース」 第 4 回チェーンソーを使った伐倒作業&里山整備作業実習 「里山整備作業及び作業時の安全確保について」
日 時	平成 27 年 9 月 5 日（土） 10：00～16：00
講 師	全体朝礼 講 義：千葉県森林組合君津支所 木村 正敏 作業実習：千葉県森林組合君津支所 木村 正敏 房総森輪会 岡部 千恵子 房総森輪会 岡部 正史 房総森輪会 多田 知子 ちば森林資源コンサーブ 加藤 直人 房総森輪会 日比 俊一
会 場	君津市鹿野山 NPO 法人 ちば森林資源コンサーブ活動地
出席者	受講生 42 名（欠席 12 名）・主催者 2 名・スタッフ 1 名
報 告	<p>10：00～10：10 全体朝礼</p> <p>10：10～10：30 講義 千葉県森林組合君津支所 木村 正敏 里山活動における危険予知&安全確保について</p> <p>10：30～15：30 作業実習 チェーンソーによる伐倒、枝打ち、玉切りの作業実習 （ 12：00～13：00 昼食・休憩 ）</p> <p>15：30～15：45 工具等整備&片付け等</p> <p>15：45～16：00 まとめ&終礼</p> <p>朝礼に続き、本日の講師と地球環境基金の視察団が紹介された。次に木村講師から林業における安全管理について講義があり、林業事故の多くは経験と慣れに起因する。最近の事故例で、経歴 50 年の方の場合、知識豊富でも勘に頼る技術が事故の原因とも考えられる。点検と確認の必要性が強調された。</p> <p>10 時 30 分からの実習は 3 班に分かれ、受け口切り、追い口切り、玉切りと前回の復習を行った。伐倒を力学的観点でツルの特徴をとらえた講義に受講生の目が注がれた。</p> <p>午後の実習は、伐倒、枝払い、玉切りをチームで完成させるプログラムとした。9 チームが伐倒に取り掛かった。一班は密生する林木のある個所での伐倒を行った。受け口切りで幾度か修正、追い口切りでさらに修正を加えながら伐倒方向を確認し、伐倒した時は拍手と笑みがこぼれた。</p> <p>二班、三班はともに直径 40 センチ以上の針葉樹の伐倒に取り掛かった。樹高 15 メートル以上の伐倒は森の中に地響きを立てて倒れ、セミの声が瞬間やみ、森は静まり返った。初めての伐倒体験に受講生の目は傾く大木一点に注がれていた。</p> <p>チェーンソーが水平に入らないもどかしさがどのチームでも見られた。修正を加えるごとに伐倒方向が修正できることに安心したようだった。大きな直径の場合、左右から進める追い口切りに手こずっている様子だったが、頂点から揺らぎ始め、伐倒が始まると一気に表情が和らぎ白い歯がこぼれた。</p> <p>実習終了後、受講生からチェーンソー資格講習会についての問合せが相次ぎ、講師から年内の講習案内を告知した。</p>

添付資料（写真）



講師陣の紹介



アシスタント講師の紹介



木村講師の講義



地球環境基金のご紹介



一班煎餅切りを復習



二班ツルの仕組み復習



一班受け口・追い口切り



二班受け口・追い口切り



三班受け口・追い口切り



一班伐倒



二班伐倒



三班伐倒



一班玉切り



二班玉切り



三班枝払い